

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	地区協会 審判委員会 連盟
<p>過去、北信越地域のトップとして全国からも注目されるようになってきたが、ここ数年、北信越地域の各県が新潟県に追いつき、追い越せとサッカーの競技レベルに限らず、指導者、施設面等においても着実に力をつけてきている。今後、新潟県のサッカーが発展していくためにも審判員のレベル（質）と量の向上が重要になってくる。新潟県内の審判界においては、国際副審1名、サッカー1級審判員6名、フットサル1級審判員1名、女子1級審判員2名、1級審判インストラクター1名が登録されており、世界、日本トップレベルの舞台でそれぞれ活躍されている。これらの成果は、審判員個人の取り組み、意識のところとは別にインストラクター制、審判トレセン、レフェリースクールなどの審判員の育成・強化システムによるところも大きいと考える。今後は、この育成・強化システムをより充実したものとするため「レフェリーアカデミー」を立ち上げる。優秀な審判員の育成・強化はもちろんのこと、審判員の裾野を広げることにつながればと考えている。さらに審判委員会だけではなく各種別の委員会、技術委員会と連携して審判員の強化・育成をしていきたい。また、審判員指導者（INS）の質の向上にも並行して取り組んでいく必要がある。ユース審判員・女子審判員の育成は、急ぎ取り組まなければならない課題である。Nリーグ、女子の大会などで帯同審判員として活動している審判員の中から数人を選んで定期的に指導したり、大会前に審判講習会を行ったりなど審判委員会から審判員、各種委員会に対してアクションを起こしていきたい。</p> <p>これまでの中期目標であった2018年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
2. 中期目標（2030年）	地区協会 審判委員会 連盟
<ul style="list-style-type: none"> ・ 審判員登録者数・・・（サッカー）3800人 （フットサル）1200人 ・ 1級審判員・・・ （サッカー）10人 （フットサル）5人 ・ 2級審判員・・・ （サッカー）60人 （フットサル）20人 ・ 女子1級審判員・・・ 5人 ・2級審判員（女子）・・・ 10名 ・ ユース審判員（サッカー3級）・・・20人 ・ サッカー審判員指導者・・・60名フットサル審判員指導者・・・10名 ・ 審判員指導者研修会 3回／年 ・ ユース審判員研修会・・・2回／年 ・ レフェリーアカデミー・・・定期的開催（2回／月） ・ 定期刊行物・・・2回／年 県協会HPに適宜掲載、SNSの活用 	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
3. 長期目標（2050年）	地区協会 審判委員会 連盟
<ul style="list-style-type: none"> ・ 審判員登録者数・・・（サッカー）5000人 （フットサル）3000人 ・ 1級審判員・・・ （サッカー）15人 （フットサル）10人 ・ 2級審判員・・・ （サッカー）60人 （フットサル）20人 ・ 女子1級審判員・・・ 5人 ・1級審判員（女子フットサル）・・・ 3人 ・ FIFA（サッカー）・・・2人 （フットサル）・・・1人 ・ サッカー1級審判員指導者・・・3人 ・ フットサル1級審判員指導者・・・3人 	

NIFAアクションプラン2018→2022				全体 頁中の 頁	
4. 現状分析				地区協会 審判委員会 連盟	
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1. 強化部	サッカー1級審判員10名 Jリーグ主審担当5名 Jリーグ副審担当5名	サッカー1級審判員6名	60%	北信越の育成・強化→1級候補へのステップアップしていく評価基準・システムが不透明な部分が多い。	新潟県内で十分な指導を施して育てていく必要がある。 →県内指導者の質の向上が必要 レフェリーアカデミーの活用
2. 県内強化	北信越強化審判員・毎年2人づつ選出 レフェリーアカデミー	北信越強化審判員・毎年2人づつ選出 レフェリースクール レフェリートレセン 2回/月	50%	レフェリースクール・県内審判トレセンへの参加者の減少 若手審判員が取り組みやすい環境作り	レフェリーアカデミーの活用 広報の方法（SNSの活用） 各種別ヘルール講習会や審判実践指導をして、将来の上級審判員を目指す若手審判員を発掘する。 審判トレセン等の回数の確保と参加者を増やすことの工夫。 3級資格者の中から昇級意欲の高い審判員の発掘。
3. 育成部	北信越強化審判員・毎年2人づつ選出 有望な若手・ユース審判員の発掘	北信越強化審判員・毎年2人づつ選出 若手・ユース審判員の減少	80%	審判員のサッカーの理解を深める 若手・ユース審判員の減少	
4. 指導部	サッカー1級INS 3名 サッカー2級INS 25名 サッカー3級INS 60名 フットサル2級INS 10名	サッカー1級INS 1名 サッカー2級INS 18名 サッカー3級INS 46名 フットサル2級INS 3名	50% 60% 60% 60%	指導者の質の向上 FのINSが少ない為、F4認定・3級昇級の講習会を定期的開催できない。→底辺の拡大・若手の有望な審判員の発掘が難しい。 2級審判員については、レベルアップのために割り当てる試合が少ない	インストラクター研修を定期的開催することで、指導の方針等の意識を一枚岩にしておく。 審判員と同様に指導者もサッカーの理解を深める。 →技術との協調など 現役F審判員の中からINSの資格を取得してもらう。
5. 女子部	サッカー女子1級審判員 5名 サッカー女子2級審判員 5名 サッカー女子3級審判員 30名	サッカー女子1級審判員 3名 サッカー女子2級審判員 0名 サッカー女子3級審判員 12名	50% 30% 30%	底辺の拡大	フェスティバル等を利用するなどユース男子の試合を担当させ、レベルアップを図る。 女性対象の講習会を増やし資格取得しやすい環境を整える。資格取得後の活動の場として、女子県リーグを活用。
6. フットサル	フットサル1級審判員 5名 ※そのうち女性2名 フットサル2級審判員 25名 ※女性5名	フットサル1級審判員 1名 フットサル2級審判員 13名 ※女性1名	50% 30%	3級審判員が少ない。 県トップリーグ、全日本選手権予選リーグで審判員の実力が伴わないことがある。 2級審判員が少ない。	フットサル連盟との連携 3級昇級機会の確保。各カテゴリで昇級機会を作る。 県トップリーグで審判員を指導できる体制を作り、3級審判員の技術向上を図る。 毎年2人以上の2級昇級者を作る。
7. 広報		3回/年発行 HP適宜アップ	20% 30%	広報担当者がいない。 定期的に発行できるようなフォーマットがない。 SNSに精通していない	広報担当者を立てる。 定期的に発行できるようなフォーマットの作成。 協会のHPを有効に活用し、新鮮な情報及び審判員が求めている情報を発信する。 SNSの活用 →講習会の案内・様子の掲載
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

NIFAアクションプラン2018→2022					全体	頁中の	頁
5. 具体的アクション					審判委員会 連盟 地区協会		
No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように		
1	審判委員会	2019～2020年	各種大会の会場	審判指導	ビデオを使って分析		
2	審判委員会 審判委員会 審判委員会	2019～2020年 2019～2020年 2019～2020年	各種大会の会場 アルビレージやグランド等 上中下越の各地域	審判指導 レフェリーアカデミー ルール講習会・審判実技指導	ビデオを使って分析 平日、土日祝日（隔週開催） 種別対象で指導者向けに開催 チーム対象で選手向けに開催		
3	審判委員会	2019～2020年	各種大会の会場	審判指導	ビデオを使って分析		
4	2級インストラクター	2019～2020年	アルビレージ（6月） グリーンピア津南（9月） 新潟市（4～9月）	3級インストラクターへの 全体研修会（6月・9月） 3級インストラクターによる 審判員への指導（4月～9月）	全体研修 2級インストラクターを複数人派遣し、インストラクターやアサッサーの任務などを指導。 審判員への指導 2級インストラクターが同行し、実際のゲームにおいて審判員に指導・アドバイスをする。		
5	審判委員会 審判委員会	2019～2020年 2019～2020年	ユース年代のフェスティバル等 新潟市近郊	審判指導 女性対象審判講習会	インストラクターを派遣して実技指導し、レベルアップを図る。 座学だけでなく実技も実施		
6	審判委員会 審判委員会	2019～2020年 2019～2020年	県内各地域 各種大会の会場	フットサル3級審判昇級試験 審判指導	各カテゴリー毎に昇級試験を開催し、昇級機会を増やす。 インストラクターを派遣して実技指導し、レベルアップを図る。		
7	審判委員会	2019～2020年	広報部の設立	レフェリーニュース（仮称） SNSの活用 facebook, インスタグラム等	編集委員の構成（4名） ・委員会より1名 ・委員会外より3名 夏・冬・春発行の機関紙を協会HP上でアップする。 【内容例】 ・競技規則の解釈と適用 ・研修会参加レポート ・人物紹介 ・講習会や研修会の案内		

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です